



一般社団法人三次観光推進機構

一般社団法人三次観光推進機構 定款

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 当法人は、一般社団法人三次観光推進機構（以下「当法人」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 当法人は、関係者の力を結集し、三次市の魅力を高め、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、出会いを通して新たな価値を創造することをもって、三次市の活性化に貢献することを目的とする。

(事業)

第 3 条 当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 三次市の観光・交流を促進するためのマーケティング及びプロモーション事業。
- ② 観光関連団体等との連絡調整。
- ③ 三次市における周遊促進と来訪者の受入環境の整備。
- ④ 地域観光コンテンツ・観光関連サービス等プロダクトの開発及び販売。
- ⑤ 観光拠点施設の管理運営。
- ⑥ イベントの企画及び運営。
- ⑦ 観光に関する諸事業の開催及びその協力に関すること。
- ⑧ 旅行業法に基づく旅行業に関すること。
- ⑨ 指定管理に関すること。
- ⑩ その他、当法人の目的達成のために必要な事業。

(事務所)

第 4 条 当法人は、主たる事務所を広島県三次市に置く。

2 当法人は、理事会の決議によって、従たる事務所を設置し、変更又は廃止することができる。

(公告方法)

第 5 条 当法人の公告は、電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

(機関)

第 6 条 当法人は、当法人の機関として、社員総会及び理事以外に理事会及び監事を置く。

第 2 章 会員及び社員

(会員、入会及び種別)

第 7 条 当法人の目的に賛同し、運営に参画するため入会した者を会員とする。

2 当法人の設立後、会員となるには、当法人所定の様式による入会申込書によって申込みをし、理事会の承認を得なければならない。

3 当法人の会員は、次の 2 種とし、社員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）第 11 条第 1 項 5 号等に規定する社員とする。

- (1) 社員 当法人の目的に賛同して入会した地方公共団体、企業、団体

(2) 賛助会員

(経費等の負担)

第8条 会員は、当法人の運営に要する経費に充てるため、総会で決議する額の負担金を支払わなければならない。

2 社員は、総会の決議により当法人が必要とする人員の派遣を求めたときは、当該人員を派遣しなければならない。

3 社員は、総会の決議により負担金の支払いに替えて当法人が必要とする人員の派遣を求めたときは、当該人員を派遣しなければならない。

4 本条の負担金及び人員の派遣は、社員については、一般法人法第27条に規定する経費とみなす。

5 既納の負担金及びその他の拠出金品は、返還しない。

(会員の資格喪失)

第9条 会員が次に掲げる事由に該当するときは、その資格を喪失する。

① 当該会員からの退会の申し出。会員は、当法人所定の様式による退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

② 1年以上負担金を滞納したとき

③ 当該会員の解散

④ 総社員の同意

⑤ 除名

2 会員の除名は、会員が次のいずれかに該当するときに、総会の決議によってすることができる。この場合は、一般法人法第30条及び第49条第2項第1号の定めるところによるものとする。

① 定款又は当法人の規則に違反したとき

② 当法人の名誉を棄損し、又は当法人の目的に違反する行為があったとき

③ その他除名すべき正当な事由があるとき

(会員名簿)

第10条 当法人は、会員の名称及び住所を記載又は記録した「会員名簿」を作成し、当法人の主たる事務所に備え置くものとする。

2 前項の「会員名簿」をもって、一般法人法第31条に規定する社員名簿とする。

3 当法人の会員に対する通知又は催告は、「会員名簿」に記載又は記録した住所又は会員が当法人に通知した居所にあてて行うものとする。

第3章 総会

(種別及び構成)

第11条 当法人の総会は、定時総会及び臨時総会とし、すべての社員をもって構成する。

2 前項の総会をもって、一般法人法上の社員総会とする。

(招集)

第12条 当法人の定時総会は、毎事業年度末日の翌日から3か月以内に招集し、臨時総会は、必要に応じて招集する。

2 総会は、法令に別段の定めがある場合を除くほか、理事会の決議に基づき理事長がこれを招集する。理事長に支障があるときは、理事会においてあらかじめ定めた順序により他の理事がこれを招集する。

3 総会を招集するには、開催日より1週間前までに、社員に対して招集通知を書面にて発す

るものとする。ただし、書面投票又は電子投票を認める場合は、2週間前までに発するものとする。

(招集手続の省略)

第13条 総会は、社員全員の同意があるときは、招集手続を経ずに開催することができる。

(権限)

第14条 総会は、次の事項について決議する。

- ① 会員の除名
- ② 理事及び監事の選任又は解任
- ③ 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- ④ 定款の変更
- ⑤ 解散及び残余財産の処分
- ⑥ その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定める事項

(議長)

第15条 総会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長に支障があるときは、理事会においてあらかじめ定めた順序により他の理事がこれに当たるものとする。

(議決権)

第16条 総会における議決権は、社員1名につき1個とする。

(決議の方法)

第17条 総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- ① 会員の除名
- ② 監事の解任
- ③ 定款の変更
- ④ 解散
- ⑤ その他法令で定める事項

(総会の決議の省略)

第18条 総会の決議の目的たる事項について、理事又は社員から提案があった場合において、その提案に社員の全員が書面又は電磁的記録によって同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなす。

(議決権の代理行使)

第19条 社員は、当法人の社員を代理人として、議決権を行使することができる。ただし、この場合には、総会ごとに代理権を証する書面を提出しなければならない。

(総会議事録)

第20条 総会の議事については、法令に定める事項を記載又は記録した議事録を作成し、総会の日から10年間当法人の主たる事務所に備え置くものとする。

2 前項の議事録には、議長のほか、出席した社員のうちから総会において選出された議事録署名人1名が、署名もしくは記名押印又は電子署名する。

第4章 役員

(役員)

第21条 当法人に、次の役員を置く。

- ① 理事 4名以上20名以内
- ② 監事 2名以内

(理事の資格)

第22条 当法人の理事は、当法人の社員たる地方公共団体に所属する者の中から選任する。ただし、必要があるときは、上記に該当しない者の中から選任することができる。

2 当法人の各理事につき、当該理事及び当該理事の配偶者又は三親等以内の親族その他の当該理事と財務省令で定める特殊の関係のある者である理事の合計数が理事の総数の3分の1を超えてはならない。

(理事及び監事の選任方法)

第23条 当法人の理事及び監事の選任は、総会において総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

(代表理事等)

第24条 当法人に理事長1名を置き、さらに副理事長、専務理事及び常務理事を置くことができるものとする。理事会において議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって理事の中から選定する。

2 理事長は、一般法人法上の代表理事とする。

3 理事長は、当法人を代表し会務を総理する。

4 副理事長、専務理事及び常務理事は、一般法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とし、当法人の業務を分担執行する。

5 副理事長、専務理事及び常務理事は、理事長を補佐し理事長に事故ある時はその職務を代理する。

(理事の職務及び権限)

第25条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款の定めるところにより、職務を執行する。

(監事の職務及び権限)

第26条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令の定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(理事及び監事の任期)

第27条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

2 任期満了前に退任した理事又は監事の補欠として選任された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

3 当法人の設立後に選任された理事の任期は、他の在任理事の任期の残存期間と同一とする。

4 理事若しくは監事が欠けた場合又は第21条で定める理事若しくは監事の員数が欠けた場合には、任期の満了若しくは辞任により退任した理事又は監事は、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(理事及び監事の解任)

第28条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任す

る決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(報酬等)

第29条 非常勤役員のうち理事については、報酬及び退職金は支払わないものとする。

2 常勤理事及び監事については、総会において報酬等（報酬、賞与その他の職務上の対価として当法人から受ける財産上の利益をいう。以下同じ。）の額を定めたときは、報酬等として支給することができる。

3 理事及び監事には費用を弁償することができる。

第5章 理事会

(構成)

第30条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(招集)

第31条 理事会は、理事長がこれを招集し、開催日の1週間前までに各理事及び各監事に対して、招集の通知を発するものとする。ただし、緊急の場合にはこれを短縮することができる。

2 理事長に支障があるときは、理事会においてあらかじめ定めた順序により他の理事がこれを招集する。

(招集手続の省略)

第32条 理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集手続を経ずに開催することができる。

(権限)

第33条 理事会は、法令に定める事項及びこの定款に別に定めるもののほか、次の事項について決議する。

- ① 業務執行の決定
- ② 理事の職務の執行の監督
- ③ 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

(議長)

第34条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長に支障があるときは、理事会においてあらかじめ定めた順序により他の理事がこれに当たるものとする。

(理事会の決議)

第35条 理事会の決議は、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第36条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案に異議を述べた場合を除く。）は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(職務の執行状況の報告)

第 37 条 理事長，副理事長，専務理事及び常務理事は，毎事業年度に 4 か月を超える間隔で 2 回以上，自己の職務の執行の状況を理事会に報告するものとする。

(理事会議事録)

第 38 条 理事会の議事については，法令に定める事項を記載した議事録を作成し，出席した理事長（理事長に支障があるときは出席理事）及び監事がこれに署名もしくは記名押印又は電子署名し，理事会の日から 10 年間主たる事務所に備え置くものとする。

(理事会運営規程)

第 39 条 理事会の運営に関する必要な事項は，法令又はこの定款に定めるもののほか，理事会において定める理事会運営規程による。

第 6 章 基金

(基金の拠出)

第 40 条 当法人は，基金を引き受ける者の募集をすることができる。

2 拠出された基金は，当法人が解散するまで返還しない。

3 基金の返還の手続については，基金の返還を行う場所及び方法その他の必要な事項を清算人において別に定めるものとする。

第 7 章 資産及び会計

(事業年度)

第 41 条 当法人の事業年度は，毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(事業計画及び収支予算)

第 42 条 当法人の事業計画及び収支予算については，毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し，理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。

(事業報告及び決算)

第 43 条 当法人の事業報告及び決算については，毎事業年度終了後，理事長が次の書類を作成し，監事の監査を受けた上で，理事会の承認を受けなければならない。

- ① 事業報告
- ② 事業報告の附属明細書
- ③ 貸借対照表
- ④ 正味財産増減計算書
- ⑤ 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

2 前項の承認を受けた書類のうち，第 1 号，第 3 号及び第 4 号の書類については，定時総会に提出し，第 1 号の書類についてはその内容を報告し，その他の書類については，承認を受けなければならない。

3 第 1 項の書類のほか，次の書類を主たる事務所に 5 年間備え置き，社員及び債権者の閲覧に供するとともに，定款及び社員名簿を主たる事務所に備え置き，社員の閲覧に供するものとする。

- ① 監査報告
- ② 理事及び監事の名簿

(剰余金の不配当)

第 44 条 当法人は、剰余金の配当はしないものとする。

第 8 章 解散及び清算

(解散の事由)

第 45 条 当法人は、総会の決議その他、一般法人法第 148 条で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第 46 条 当法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に帰属させるものとする。

第 9 章 委員会及び専門部会

(委員会及び専門部会)

第 47 条 当法人の事業を推進するため、理事会はその決議により、委員会及び専門部会を設置することができる。

2 委員会及び専門部会の組織及び運営に関して必要な事項は、理事長が理事会の決議により別に定める。

第 10 章 事務局

(事務局)

第 48 条 当法人の事務処理及び事業遂行のため、事務局を設置する。

2 事務局に、事務局長及び所要の職員を置く。

3 事務局長及び職員は、理事長が任免する。ただし、事務局長及び重要な職員については、理事会の決議を経なければならない。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議により別に定める。

第 11 章 委任

(委任)

第 49 条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に関する必要な事項は、理事長が理事会の決議により別に定める。

第 12 章 附則

(設立時社員の名称及び住所)

第 50 条 当法人の設立時社員の名称及び住所は、次のとおりである。

広島県三次市十日市中二丁目 8 番 1 号三次市

広島県三次市十日市南一丁目 2 番 2 3 号三次市交通観光センター 1 階

一般社団法人三次市観光協会

広島県三次市君田町泉吉田 3 1 1 番地 3 君田町観光協会

広島県三次市作木町香淀 1 1 6 番地作木町観光協会

広島県三次市三良坂町三良坂 8 7 7 番地三良坂町観光協会

広島県三次市甲奴町本郷 1 0 9 4 0 番地ジミー・カーターシビックセンター内甲奴町観光協会

広島県三次市三次町 1 8 4 3 番地の 1 三次商工会議所

広島県三次市三良坂町三良坂 8 7 7 番地三次広域商工会

(設立時役員)

第 51 条 当法人の設立時理事，設立時監事及び設立時代表理事は，次のとおりとする。

設立時理事 瀬崎智之，堀江斎，政森進，安藤周治 設立時監事 古永雅則

設立時代表理事（理事長） 瀬崎智之

(最初の事業年度)

第 52 条 当法人の最初の事業年度は，当法人成立の日から平成 3 0 年 3 月 3 1 日までとする。

(定款に定めのない事項)

第 53 条 この定款に定めのない事項については，すべて一般法人法その他の法令の定めるところによる。